

[7477/1A-015-002]

Ver.11

1.一般検査 >> 1A.尿一般検査>>1A015 蛋白定量 [蓄尿]

蛋白定量

[蓄尿]

protein, quantitative

連絡先 PHS 6570

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

ヘモグロビンは正誤差を与えるので、血尿の場合は高値に測定されます。健常者においても激しい運動や精神的ストレスなどの一過性の原因で尿蛋白排泄が増加することがあります。

オーダーボタン名(検体)

7477

001

蛋白定量[蓄尿]

検査予約

至急オーダー

可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテス	
注	80 外
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 急
F	
蓄尿	*_*_*_*_*-14001
尿検査室	**_*_*_*_*_*
U.	<input type="text" value="2ml"/>

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[7477/1A-015-002]

Ver.11

1.一般検査 >> 1A.尿一般検査>>1A015 蛋白定量 [蓄尿]

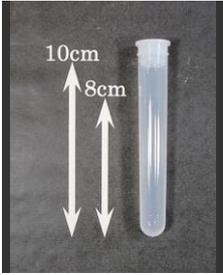
蛋白定量

[蓄尿]

protein, quantitative

連絡先 PHS 6570

01	U	丸底プレイン(白)		
	採取材料	蓄尿	採取量	2 mL
	測定材料		測定必要量	



採取容器について

検体採取について

高粘度の検体は検査不可
少量の検体 (500 μ L未満) は不可, 保存剤入りの尿は不可

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	遠心後の蓄尿上清	保存条件1	冷蔵					

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸
不可				

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取日から2日間

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器 TBA-2000FR (キヤノンメディカルシステムズ)

[7477/1A-015-002]

Ver.11

1.一般検査 >> 1A.尿一般検査>>1A015 蛋白定量 [蓄尿]

蛋白定量

[蓄尿]

protein, quantitative

連絡先 PHS 6570

参考文献

JLAC10

分析物	1A015	蛋白定量[尿]
識別	0000	
材料	004	蓄尿
測定法	271	可視吸光光度法

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/11/25	2015/11/27～	基準値変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2018/05/08	2018/03/19～	検査機器変更([TBA-120FR]⇒[TBA-2000FR])
6	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
7	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
8	2022/04/06	2021/06/28～	検査場所を変更
9	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
10	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
11	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定